

講座だより

第6号
10月発行

9月20日(土)に「富士市交流プラザ」にて第6回目の養成講座を実施しました。第6回講座では、午前中は「安全管理」と題してホールアース自然学校の夫津木学氏を、午後は「プログラムデザイン」と題し、キープ協会の関根健吾氏をお招きして実施しました。以下、講座の様子です。



【講師の夫津木学氏】



【安全管理の様子】

プログラム（以下P G）を行う上で必要となる安全管理の視点を養うために、現役ガイドとしての経験や他団体の事例なども交えながら、P Gを行う際の危険予知だけではなく保険や事故が起きた場合に問われる責任などについて紹介がありました。一枚の写真を見て、その写真の中にどのような危険が潜んでいるかを考えるグループワークも行い、同じ場所や環境でも人によってリスクと感じる箇所に違いがあることに驚いている様子でした。



【講師の関根健吾氏】



【プログラムデザインの様子】

午後はP Gを一から作るために必要な視点などを知る「プログラムデザイン」の時間。まずは関根氏による同じものを題材にした2つのP Gを実際に体験してもらい、デザインによって伝わり方や楽しさが全く異なることを体験してもらいました。いくつかのグループワークを経て、最終的にはグループごとにプログラムを企画する上での十か条を作成しました。いよいよ次回からは本格的な企画が始まるため、本番を想定した質問が相次ぎました。

《発行元》

静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課
電話:054-221-2849 Eメール:fureai@pref.shizuoka.lg.jp